

“東日本大震災後の子ども支援”

東日本大震災から今日までの1年間、被災地現場で日常的に子ども支援を行ってきた、教師、スクールカウンセラー、児童青年精神科医の3名をお迎えし、震災後の子ども達の姿を振り返り、周囲の大人に求められる今後の対応について議論をいたします。

報告1 教育の現場からみえる中学生の姿

震災直後から現在までの子ども達の様子から

石巻市立万石浦中学校教諭 鹿野 宏美氏

報告2 福島で今、何が起きているか～心のケアの今後を考える～

放射能被害を受けている福島の子どもの声や保護者の声から

福島県スクールカウンセラー 須藤 弘美氏

講演 震災と子どものこころ

宮古子どものこころのケアセンターでのとりくみから

盛岡少年刑務所医務課医師（児童精神科医） 八木 淳子氏

日時	2012年3月3日（土）13:00～15:30
会場	東北大学文科系総合研究棟 11階大会議室
参加者	子どもに関わっていらっしゃる方
参加費	無料
定員	100名（定員になり次第締め切り）
申込方法	電話かFAXでお申し込みください。



・問合せ先：東北大学大学院教育学研究科
教育ネットワークセンター
震災子ども支援室 “Sチル”

Tel&Fax 022-795-3263

E-mail : s.children@sed.tohoku.ac.jp

参加申込書

F A X : 022-795-3263 平井宛

フリガナ		
お名前		男・女
フリガナ		
お名前		男・女
ご住所	〒	
TEL/FAX	TEL	
	FAX	
備考		

